

2025 11月 鷹栖町図書室に新しくいった本

(10月分より)

たかす(一般)

『翠雨の人』(伊与原新／新潮社)
『新・教場2』(長岡弘樹／小学館)

『酒亭DARKNESS』(恩田陸／文藝春秋)
『今日未明』(辻堂ゆめ／徳間書店)
『ザ・エッセイ万博』(万城目学／ポプラ社)
『ヘッセ詩集』(ヘルマン・ヘッセ／亜紀書房)
『見えない壁』(本間浩昭／KADOKAWA)
『たくましくて美しい淡水生物図鑑』(関慎太郎／創元社)
『ベビーサイン図鑑』(吉中みちる／Gakken)

☆新しくいった本は他にもございます。
図書室では新着図書のリストを配布して
おります。また、鷹栖町図書室の蔵書検
索から探すこともできます。



『鎌倉茶藝館』(伊吹有喜／光文社)
『羊殺しの巫女たち』(杉井光／KADOKAWA)
『白魔の檻』(山口未桜／東京創元社)
『和解と平和の森』(殿平善彦／高文研)
『食物アレルギーのすべてがわかる本』(海老澤元宏 監修／講談社)
『戦争と万博』(榎木野衣／講談社)
『師匠はつらいよ2 藤井聡太とライバルたち』(杉本昌隆／文藝春秋)

たかす(児童)

『いちにちおこめ』(かわしまななえ／PHP研究所)
『よるのミニカーたんけんたい』(関根知未／アリス館)

『クリームソーダのしゅわお』(出口かすみ／世界文化ワンダフルグループ)
『おうさまのみみは口バのみみ』(いもとようこ／金の星社)
『一年一組先生あのね 2』(鹿島和夫 監修／理論社)
『ジブリの食卓 千と千尋の神隠し』(スタジオジブリ 監修／徳間書店)

『おいしいおのまとペ』(高原美和／PHP研究所)
『おおじしんからいのちをまもるえほん』(石塚ワカメ／KADOKAWA)
『うっかりくまさんたちのおかしなおんがくかい』(へんみあやか／Gakken)
『変わってしまったぼくの町、僕の学校』(ダニエル／汐文社)
『ハッピースクール性格診断BOOK』(木原誠太郎 監修／主婦と生活社)
『地球変動の犯人を追って、科学者、海にもぐる!』(佐野貴司／河出書房新社)

きたの(一般)

『本でした』(又吉直樹／ポプラ社)
『別れ、コロナ、風』(吉本ばなな／幻冬舎)

『熊になったわたし』(ナスターシャ・マルタン／紀伊国屋書店)
『新興宗教ぶっちゃけ話』(多田文明／清談社Publico)
『“一億特攻”への道』(大島隆之／文藝春秋)
『世界大激変』(ジム・ロジャーズ／東洋経済新報社)
『おいしい循環』(たいら由以子／婦人之友社)

『リクと暮らせば』(大崎梢／双葉社)
『春の星を一緒に』(藤岡陽子／小学館)
『涙の箱』(ハンガン／評論社)
『一九八四+四〇ウイグル潜行』(西谷格／小学館)
『ドキュメント クマから逃げのびた人々』(三オブックス)
『決定版アイラップBESTレシピ』(mako／ワニブックス)
『お米が消える日』(安田節子／三和書籍)

きたの(児童)

『マンガでわかる!おとなも子どもも知っておきたい
ハラメント』(内田良 監修／主婦と生活社)

『いやいやはるくん』(田中六大／岩崎書店)
『くまのおやこのきょうはさかなつり』(エリン・E. ステッド／光村教育図書)
『1945年8月6日あさ8時15分、わたしは』(いわさきちひろ／童心社)

『おばけのおにぎり』(塚本やすし／ニコモ)
『だれだって』(エリーズ・グラヴェル／パイインターナショナル)
『すーとすってふー』(松田奈那子／アリス館)
『タトゥーママ』(ジャクリーン・ウィルソン／岩波書店)
『おかあさんになった警察犬アンズ』(鈴木博房／岩崎書店)

ほか

～鷹栖町図書室の本はふるさとまちづくり応援寄附事業の寄附金を活用して購入しています～



図書室だより
11月23日(日)に第4回
鷹栖町図書室まつりを開
催いたします。スペシャル
おはなし会や本のリサイク
ル市、スタンプラリーなど
楽しいイベントが盛りだく
さん! 今年はホールにて、
文学作品の朗読と音楽演
奏も行います。ぜひみなさ
までお越しください。



10
月
の
本
棚
リ
レー
は
若井真知子さんでした。



10
月
の
「
音
楽
の
あ
る
図
書
室
」
は
じゅんぎとめいと仲間たちによる
ギターとうたでした。